

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際ペット総合専門学校
設置者名	学校法人TBC学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化・教養専門課程	トリマー学科	夜・通信	69 単位	7 単位	
	ドッグトレーナー&アニマルケア学科	夜・通信	74 単位	7 単位	
	動物看護師学科	夜・通信	133 単位 (3,050) 単位時間	10 単位 (240) 単位時間	
	ペット総合学科	夜・通信	84 単位	7 単位	
(備考)					
()の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際ペット総合専門学校
設置者名	学校法人TBC学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tbcgakuin.ac.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和6年5月31日 ～令和9年5月30 日	相互に監視し健全な 運営を実現する
非常勤	会社代表取締役	令和6年5月31日 ～令和9年5月30 日	法人外部からの視点 を取り入れる
非常勤	元福祉法人理事	令和6年5月31日 ～令和9年5月30 日	理事会の牽制機能を 果たす
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	国際ペット総合専門学校
設置者名	学校法人TBC学院

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ペット総合専門学校
設置者名	学校法人TBC学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。 学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p>	
<p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。 ②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。 ③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。 ④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点)</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点)</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点)</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満)</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議 「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、学業成績をはかる基準として、授業科目ごとの成績を、前期、後期(通年)の年2回、以下の算出方法により、点数(100点満点)化し、全科目の合計点の平均を算出している(成績評点制度)</p> <p><各授業科目の成績評点算出方法></p> <p>① テストの実点数(100点満点)×成績評価割合=成績評点 ② 課題提出評価点(100点満点)×成績評価割合=成績評点 ①~③合計=成績評点 ③ 授業姿勢評価点(100点満点)×成績評価割合=成績評点</p> <p>※①~③の成績評価割合(合計100%)は、各授業担当者が設定(シラバスに明記)</p> <p><全科目の合計点の平均の算出方法></p> <p>全科目の合計点÷授業科目数=平均点</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)~6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。 2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験) 3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。 4) 90%以上の出席率であること。 5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>刊行物「高等教育の修学支援新制度に伴う公表書類一覧」を本校1階ロビーに設置することとし、誰でも閲覧可能な状態に据え置く</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際ペット総合専門学校
設置者名	学校法人TBC学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ (https://tbcgakuin.ac.jp/) にて公開
収支計算書又は損益計算書	ホームページ (https://tbcgakuin.ac.jp/) にて公開
財産目録	ホームページ (https://tbcgakuin.ac.jp/) にて公開
事業報告書	ホームページ (https://tbcgakuin.ac.jp/) にて公開
監事による監査報告（書）	ホームページ (https://tbcgakuin.ac.jp/) にて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	トリマー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	69	30		39		
年							
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		48 人	0 人	2 人	5 人	7 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。 学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価 1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。 2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。 3) 評価方法・評価基準 ①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。 ②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。 ③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。 ④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点) B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点) C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点) D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満) ⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議 「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p>

修了・進級の認定基準
(概要) 『卒業・進級基準』 次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる 1) 通年の成績評価が全てC以上であること。 2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験) 3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。 4) 90%以上の出席率であること。 5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	0 人 (0.0%)	24 人 (96.0%)	1 人 (4.0%)
(主な就職、業界等)			
トリミングサロンやペットショップ など			
(就職指導内容)			
就職研修 (面接指導、ビジネスマナー講義)、就職先紹介、企業実習の実施など			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
JKCトリマーライセンスC級 100% 日本動物専門学校協会トリマーライセンス1級 100% など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	1 人	2.0 %
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
性格検査を取り入れた個別指導教育法を行っている。定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力している。また、校内に学生相談室を設け相談に乗っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ドッグトレーナー&アニマルケア学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	74	30		44		
年							
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		54 人	0 人	2 人	4 人	6 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。</p> <p>学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。</p> <p>②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。</p> <p>③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。</p> <p>④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点)</p> <p>B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点)</p> <p>C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点)</p> <p>D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満)</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議</p> <p>「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p>
<p>修了・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>『卒業・進級基準』</p> <p>次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。</p> <p>2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験)</p> <p>3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。</p> <p>4) 90%以上の出席率であること。</p> <p>5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。</p> <p>6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 （ 100% ）	0 人 （ 0.0% ）	20 人 （ 69.0% ）	9 人 （ 31.0% ）
（主な就職、業界等）			
犬の幼稚園、警察犬訓練所、ペットショップ など			
（就職指導内容）			
就職研修（面接指導、ビジネスマナー講義）、就職先紹介、企業実習の実施など			
（主な学修成果（資格・検定等））			
日本動物専門学校協会主催 ドッグトレーナー1級 89.7% 家庭動物管理士 100% など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	2 人	3.4 %
（中途退学の主な理由）		
進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
性格検査を取り入れた個別指導教育法を行っている。定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力している。また、校内に学生相談室を設け相談に乗っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	133 (3,050)	106 (2,014)		27 (1,036)		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75 人		72 人	0 人	3 人	5 人	8 人	
(備考) (任意記載事項)							
()内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。 学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価</p> <p>1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。</p> <p>2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。</p> <p>3) 評価方法・評価基準</p> <p>①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。 ②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。 ③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。 ④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する</p> <p>A: 科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点) B: 科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点) C: 科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点) D: 科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満)</p> <p>⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。</p> <p>成績評価会議 「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う</p>
<p>修了・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>『卒業・進級基準』 次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる</p> <p>1) 通年の成績評価が全てC以上であること。 2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験) 3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。 4) 90%以上の出席率であること。 5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 （ 100% ）	0 人 （ 0.0% ）	23 人 （ 88.5% ）	3 人 （ 11.5% ）
（主な就職、業界等）			
動物病院 など			
（就職指導内容）			
就職研修（面接指導、ビジネスマナー講義）、就職先紹介、企業実習の実施など			
（主な学修成果（資格・検定等））			
愛玩動物看護師 88.5%など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	2 人	2.8 %
（中途退学の主な理由）		
進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
性格検査を取り入れた個別指導教育法を行っている。定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力している。また、校内に学生相談室を設け相談に乗っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペット総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	84	44		40		
年							
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		53 人	0 人	2 人	3 人	5 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)						
(概要)						
シラバス作成ガイドラインに沿って、各授業科目担当者がシラバスを作成し、「学習指導部」により、ガイドラインに沿って作成されているか、内容は適正か、第三者の目で審査を行う。 学習指導部の審査後、学生分印刷を行い、年度初めの授業で学生に配布・説明を行っている。						
成績評価の基準・方法						
(概要)						
成績評価 1) 成績評価は、原則として科目ごとに前期・後期および通年で行う。 (注)同一名称でも、末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号の付されているものは、それぞれ別の科目として取り扱う。 2) 成績評価は、検定取得、平素の授業態度、確認テスト、出課率、課題提出、定期テスト等の状況・結果によって行う。 3) 評価方法・評価基準 ①成績評価はA、B、C、Dの4段階とし、Dは不合格とする。 ②検定関連科目は、検定の結果を中心に評価する。 ③検定のない科目は、科目終了時に試験・レポート等を実施する。 ④検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する A：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が優秀な者 (100点～80点) B：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が良好な者 (80点未満～70点) C：科目に関する理解および日常態度、出課状況がやや劣る者 (70点未満～60点) D：科目に関する理解および日頃の授業態度、出課状況が著しく劣る者 (60点未満) ⑤70%の出課に満たない科目は評価の対象としない。						
成績評価会議 「学習指導部」により、学生の成績が公平・公正につけられているか、第三者の目で審査を行う						
修了・進級の認定基準						
(概要)						
『卒業・進級基準』 次の1)～6)の全てを満たすことにより卒業・進級の対象とするとなる 1) 通年の成績評価が全てC以上であること。 2) 各学科により指定された認定試験に合格すること。(該当する場合のみ受験) 3) 各学科により指定された基準検定を取得すること。 4) 90%以上の出席率であること。 5) 各科目それぞれ70%以上の出課率および80%以上の総出課率であること。 6) 学費、その他学校納付金の納入が完了していること。						
学修支援等						
(概要)						
・クラス担任制を導入し、個人面談、三者面談を適時実施。 ・各種検定前には、検定対策補講を実施。						

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 （ 100% ）	0 人 （ 0.0% ）	16 人 （ 76.2% ）	5 人 （ 23.8% ）
（主な就職、業界等）			
ペットショップ、トリミングサロン、ねこカフェ など			
（就職指導内容）			
就職研修（面接指導、ビジネスマナー講義）、就職先紹介、企業実習の実施など			
（主な学修成果（資格・検定等））			
NAVA動物介在福祉士 95.2% ICCキャットグルーマー 100% など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	0 人	0.0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		
性格検査を取り入れた個別指導教育法を行っている。定期的に個人面談および三者面談を行い、保護者と連携した指導を行っている。退学防止委員会を設置し、学生情報の共有化を図り、学校として学生とともに問題解決を図るべく努力している。また、校内に学生相談室を設け相談に乗っている。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
トリマー学科	100,000 円	600,000 円	440,000 円	その他は施設設備費
ドッグトレーナー&ブライヤー学科	100,000 円	600,000 円	440,000 円	その他は施設設備費
動物看護師学科	100,000 円	700,000 円	440,000 円	その他は施設設備費
ペット総合学科	100,000 円	600,000 円	440,000 円	その他は施設設備費
修学支援 (任意記載事項)				
学費給付試験制度・家賃支援奨学金制度・家族入学奨学金制度・卒業生奨学金制度・奨学生試験の実施				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fashionpet.ac.jp/pet/information/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 1. 評価項目：教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入募集、財務、法令の遵守、社会貢献・地域貢献 2. 評価委員の構成：PTA・卒業生・企業関係者（各学科1名以上）を選出 3. 評価結果の活用方法：原則、前期に学校関係者評価委員会を開催し、前年度を対象に評価を受け、当該年度もしくは当該年度以降の活動に改善方策等を取り入れ活動する。責任者は学校長。		
第三関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人全国ペット協会	2026年4月1日～ 2027年3月31日	企業等委員
GEN'S DOG	2026年4月1日～ 2027年3月31日	企業等委員
フォレストヒルズ那須	2026年4月1日～ 2027年3月31日	企業等委員
うつのみやペットクリニック	2026年4月1日～ 2027年3月31日	企業等委員
株式会社カドック	2026年4月1日～ 2027年3月31日	企業等委員
保護者代表	2026年4月1日～ 2027年3月31日	PTA
卒業生代表	2026年4月1日～ 2027年3月31日	卒業生
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fashionpet.ac.jp/pet/information/		
(備考)		
第三者評価は未実施であるため、学校関係者評価について記載している		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.fashionpet.ac.jp/pet/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H109310000444
学校名 (〇〇大学 等)	国際ペット総合専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人TBC学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		38人（ 12 ）人	35人（ 11 ）人	39人（ 12 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	17人	17人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅱ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	-	0人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
	区分外（多子世帯）	-	-	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				39人（ 12 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	後半期	
0人	0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。